

令和2年度 高校生国際会議 実施要項

1. 目的

- グローバルな社会課題について、北信越地方の高校生が社会人や海外の高校生と対話することを通じて、自身の行動や価値観を見直すとともに、会議後の行動変容に繋げる
- 国や地域を越えて、高校生が継続的に学び合うとともに、その学びを支援する教職員も含めたコンソーシアムを構築する

2. 概要

- 国や地域の枠を越えた共通の社会課題を発見し、助言者の支援を受けながら、その課題に対する認識を深めたり、解決策を構想したりする
- 会議を通じて「高校生行動宣言」を採択し、会議後もゆるやかに繋がりながら、それぞれのフィールドで課題解決に向けた探究を重ねる
- 次回の高校生国際会議でその後の進捗状況や成果・価値を共有する

3. テーマ

「パンデミックの時代に私たちはどう生きるか」

分科会A. 地球温暖化と異常気象、災害

近年猛威を振るう感染症の原因や背景を、地球温暖化や人口増加といった観点から捉え、現代の世界に対する認識を深めるとともに、私たちがこれから何を学び、どう生きてゆくべきか考える

分科会B. 科学技術のこれから

新型コロナウイルス感染症拡大の中、ワクチンやアプリの開発が進んでいる。本会では科学技術のあり方や可能性について議論する

分科会C. コロナ禍で考える私たちの学び

突然かつ長期の休業経験やオンライン授業など、異例づくめの1年を経て、新型コロナウイルスは私たちの社会にどんな変化をもたらしたのか、これからどうなっていくのか、こんな時代に私たちは何を学ばねばならないのかなど、学校生活をベースに検討する

分科会D. 高校生ソーシャル・イノベーション

パンデミックをはじめ、課題山積の現代社会にこそ、高校生の柔軟な発想が必要とされている。グローバルな社会課題に挑戦する新たなプロジェクト始動を目指す

4. 参加校（依頼校）

主催：金沢大学、金沢大学附属高校

○WWL 事業国内連携校

金沢泉丘高校、金沢二水高校、小松高校、七尾高校、高岡高校、高志高校

○北信越フォーラム参加校

長野県長野高校、長野県上田高校、福井県立敦賀高校

○海外参加者

海外在住の外国籍を有する学生 等

5. 期日・日程

令和3年3月20日（土・祝）オンライン開催

9:30	接続開始
10:00	開会宣言ー金沢大学附属高校校長・中澤宏一
10:03	主催者代表挨拶ー金沢大学学長・山崎光悦
10:06	趣旨説明・日程確認
10:10～14:15	分科会
～10:40	アイスブレイク
～12:15	午前の部 ①助言者から参加生徒の関心に沿った話題提供 ②今後半年で実現したいことについて対話
(※12:15～13:00)	昼食休憩
～14:15	午後の部 ①アクション・プランの策定 ②連絡方法の確認
14:30～15:20	全体会 ①プロジェクト内容披露・行動宣言採択 ②コメントー日本医科大学教授・北村義浩（予定） 株式会社ガクトラボ・仁志出憲聖
15:30	閉会

6. その他

○本事業の企画・運営は、下記アドバイザーに協力を依頼しています

・合同会社楽しい学校コンサルタント second 代表

金沢大学附属高校 WWL カリキュラムアドバイザー 前田健志氏

・株式会社ガクトラボ 代表取締役社長 仁志出憲聖氏

○次年度は（仮）令和3年8月に開催予定です